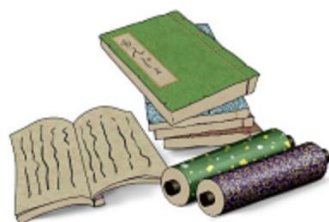


教えて！！漢方&鍼灸

教えて！！漢方&鍼灸

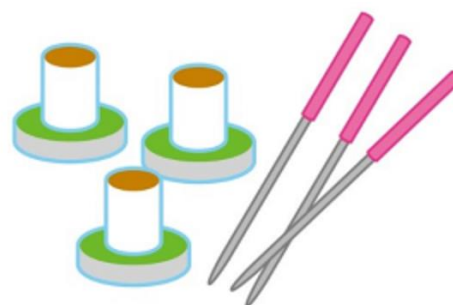


『鍼灸の歴史』



今回は鍼灸の歴史について簡単にご説明したいと思います。

鍼灸の起源ですが、約2000年前の中国で編纂されたとされる『黄帝内経』という書物には、「東は魚や塩分が多く、血に熱を持ちやすく膿瘍が生じやすいために砭石（排膿切開や瀉血に用いられたとされる石器。鍼の原形とされる）が、西方は肉食が多く身体は肥えており薬物治療が、北方は寒く食べ物は乳製品で内臓が寒を受けやすく灸治療が、南方は湿気が多く暑さの盛んなところで、酸味や発酵食品が多く筋脈の拘急や痺れなどの病気が多く鍼治療が、中央は湿気が多く、産物は豊富であり足が萎えたり・冷え性・寒熱などの疾病が多発するため按摩術などが発達した」と記載があります。つまり気候や風習、食べ物などにより生じる疾患も異なっており、各地域の特徴（風土、食物など）により適した医術の発達がなされ、その中で鍼や灸が発達したとされています。さらに『黄帝内経』には、鍼は、鎮痛、麻痺、排膿など、その使用目的によって9種類に分類されて記載されています。その後、古代中国では鍼は危険なものとして認識された時代もあり、その時代の古典には、「鍼」と記載されていた部分を「灸」に変更している書物もあります。



次回は「日本における鍼灸治療」についてお話しします。